



八雲町名誉町民・勲四等旭日小綬章  
**元熊石町長 赤泊茂松氏 逝去**  
 町内外から人柄と功績を偲ぶ声

八雲町名誉町民、元熊石町長、勲四等旭日小綬章 赤泊茂松氏は、かねてより入院加療中のところ、去る九月三日、午前十時四十一分、九十歳で逝去されました。

赤泊氏の功勞に報い、町葬をもって、九月六日より通夜、九月七日より告別式が、熊石福祉センターにおいて、多数の弔問客の参列のもと、しめやかに執り行われました。

赤泊氏は、昭和十七年に、当時の熊石村役場に奉職、昭和三十三年に、四十二歳で村長に初当選し、八期三十二年にわたって村長、町長を勤められました。

豊富な経験と確固たる信念に基づき、地方自治の振興に情熱を傾け、住民福祉の向上と、産業経済の発展など、行政各般にわたり、手腕を發揮し、熊石地域の発展の為、多大の貢献をされました。

この間、北海道町村会副会長や、北海道市町村職員共済組合理事長など数多くの要職を歴任し、地方自治の振興と、北海道の振興発展に貢献されました。

また、数々の業績に対し、地方自治功勞として、全国町村会長表彰、北海道知事表彰、北海道社会貢献賞が贈られ、昭和五十三年十一月には



遺影の前に弔辞を述べる川代町長

藍綬褒章を、平成四年四月には勲四等旭日小綬章を受章されています。平成三年には、熊石町名誉町民に推挙され、合併により、平成十七年に八雲町名誉町民となつています。

町葬では、川代町長らが、故人を偲んで弔辞を読み上げるとともに、追悼の言葉を述べられ、ご遺族をはじめ、参列者一人ひとりが焼香し、ご冥福を祈りました。

主な経歴

- 【公職歴(抜粋)】
- ・昭和17年3月 熊石村奉職
- ・昭和26年6月～昭和33年7月 熊石村助役
- ・昭和33年7月～平成2年7月 熊石町(村)長
- 【団体歴(抜粋)】
- ・昭和58年5月～平成2年7月 北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会副会長
- ・昭和58年5月～平成2年7月 北海道新幹線建設促進道南地方期成会副会長
- ・昭和58年5月～平成2年7月 昭58年5月～平成2年7月 昭59年5月～昭和61年6月 社団法人北海道栽培漁業振興公社副会長
- ・昭和59年12月～昭和63年10月 全国市町村職員共済組合連合会理事
- ・昭和59年12月～昭和63年10月 日本海地域水産業振興対策協議会会長
- ・昭和58年6月～昭和62年6月 北海道町村会副会長
- ・昭和58年12月～平成2年7月 日本海地域水産業振興対策協議会会長
- ・昭和59年12月～昭和63年11月 北海道市町村職員共済組合連合会理事
- ・昭和59年12月～昭和63年11月 北海道市町村職員共済組合連合会理事
- ・昭和59年12月～昭和63年11月 財団法人北海道市町村職員福祉協会会長
- ・昭和59年5月～昭和61年6月 社団法人北海道栽培漁業振興公社副会長
- ・昭和58年5月～平成2年7月 昭58年5月～平成2年7月

『八雲町地球温暖化対策実行計画』の進ちよく状況をお知らせします

八雲町では『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づき、地方公共団体(八雲町)が所有する施設等の事務事業に関しまして、自ら排出する温室効果ガスの削減等に取り組むべく、平成21年3月に平成19年度を基準年度とし、『八雲町地球温暖化対策実行計画』を策定し、平成21年度から平成25年度までの5年間で二酸化炭素の排出量を3パーセント削減することとしています。

この計画の進ちよく状況等について、平成24年度の二酸化炭素排出量が取りまとまりましたので、町HP (<http://www.town.yakumo.lg.jp/modules/kikaku/content0186.html>) で閲覧、または企画振興課協働推進係に資料を備え付けていますので、ご覧ください。

【問い合わせ先】 企画振興課協働推進係